

和白干潟や地球の自然を守る 2023年12月23日

和白干潟を守る会 代表 山本 廣子

皆さんの九州産業大学の近くに和白干潟があります。博多湾・和白干潟は東アジアの渡り鳥の渡来地として重要なところ。自然海岸のある干潟として「にほんの里 100選」に選ばれています。和白干潟を守る会は、環境保全活動に取り組み 35年になります。湿地を保全するラムサール条約登録を目指し、和白干潟の自然を未来に残したいと願っています。



博多湾と和白干潟 和白干潟の秋（ハマツナの紅葉）クロツラヘラサギとミヤコドリ クリーン作戦

1. 和白干潟の自然

和白干潟は人口 160 万都市福岡市の中にあります。博多湾の東奥部にある和白海域は約 300ha、和白干潟はその中の約 80ha の砂質干潟です。世界中で内湾や干潟は埋め立てや干拓をされてきました。和白干潟のように自然海岸の残る干潟は、日本全国で2か所しかないと言われています。沿岸にはハマツナやハマニンニクなどの塩生植物が豊富です。東アジアの渡り鳥の中継地や越冬地として、国際的にも重要な湿地です。絶滅が心配されるクロツラヘラサギやツクシガモが越冬しており、九州では珍しいミヤコドリの越冬地にもなっています。また沿岸が護岸や大きな道路などで埋め立てられていないことで、和白干潟には海底湧水が多く出ており、酸素を多く含む海水が湧くことで和白干潟は生きものたちをはぐくんでいます。

私はこの和白干潟のすぐそばで生まれ、和白干潟で潮干狩りをしたり泳いだりして育ちました。そんな大好きな和白干潟を全面埋め立てる計画があるのを知り、私は大変残念に思い 1987 年に「和白干潟保全」の請願書を福岡市議会に提出しました。請願書は奇跡的に採択されて、和白干潟は保全されることが決まりました。私は 1988 年に「和白干潟を守る会」を作り、和白干潟の保全活動を始めました。和白干潟は全面埋め立てを免れましたが、和白干潟をふさぐような位置に作られた 401ha の人工島の存在で、和白海域は海水の流れが悪くなり水質悪化のためにアオサの大量発生や底質のヘドロ化を招き、底生動物の減少や渡り鳥の減少が起っています。2003 年に和白海域は「国指定和白干潟鳥獣保護区」に設定され、2004 年にはラムサール条約登録の候補地にも選ばれています。

2. 和白干潟を守る会の環境保全活動

和白干潟を守る会の環境保全活動は、「自然観察会」と「クリーン作戦」と「調査」が柱になっています。そのほかに年1回秋の500人規模の「和白干潟まつり」も35回まで開催しました。また和白干潟の集水域である立花山から和白干潟に注ぐ唐原川流域の5グループと、2012年7月から「山・川・海の流域会議」を作り、この集水域の環境保全活動をしています。九産大のグループも入っています。ラムサール条約締約国会議で和白干潟が選ばれるように、署名活動をして請願書を出しています。2013年には和白干潟を守る会の活動が日本ユネスコ協会連盟により、第5回「プロジェクト未来遺産」に登録され、2018年には日本自然保護協会より日本自然保護大賞を受賞しました。行政との連携では、福岡市港湾空港局と意見交換をせっせと保全活動をしています。若い皆さんたちに身近な和白干潟の自然を守り続けていただきたいと願っています。そして地球の自然も守ってほしいです。★<http://wajirohigata.sakura.ne.jp/>